

2014年度 國學院大學法科大学院

《Ⅲ期法律科目試験》

刑 法

● 注意事項

- 1 試験時間は、9時30分から10時30分までです。
- 2 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 3 解答用紙への記入は、黒もしくは青インクのボールペンまたは万年筆（ただし、インクがプラスチック製消しゴム等で消せないものに限る。）を使用してください。これ以外のものを使用した場合は、無効となります。
- 4 訂正をする場合は、明確に線で消してください。修正液等は、使用しないでください。
- 5 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の印刷不鮮明等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 6 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入してください。
 - ① 受験番号
 - ② 氏名
- 7 問題の内容に関わる質問については、お答えできません。
- 8 「六法」は、貸与する『ポケット六法』以外使用できません。また、毎試験終了後、『ポケット六法』は回収します。
- 9 解答中に解答用紙を毀損した場合、手を挙げて監督者に知らせてください。監督者の確認後、新しい解答用紙と交換します。
- 10 携帯電話等は、時計としての利用も認められていません。必ず電源を切り、鞆などの中にしまっ、身につけないでください。
- 11 試験開始後、終了まで原則として退室は認めません。
- 12 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。いかなる理由でも解答用紙は、持ち帰ることはできません。
- 13 体調が悪い場合は、手を挙げて必ず監督者に伝えてください。

問 以下の文章を読んで、甲と乙の罪責と罪数を論じなさい。(適用条文を必ず明記すること)

甲と乙はパチンコを通じて知り合った仲である。二人の雑談中、乙が冗談で、最近負けが込んで困っている、いっそ盗みでもやって負けを取り戻すしかない、と言った。ところが、それを聞いた甲が、本当にやる気があるならよい話を教えてやろう、と真剣な表情で以下の話を乙にもちかけた。

甲が以前勤めていた「K工業株式会社」では、従業員への給与が毎月20日に支払われる。その金が、前日の夕刻に会社に届けられ、一晚、事務所の金庫で保管されている。その金庫はボールで簡単に壊せるから、金を取るのは簡単である。その気があるなら、容易に会社の敷地に侵入する方法、敷地内の建物の配置(事務所棟1棟、工場4棟)、事務所内の備品の配置図等を含めて、詳細な情報を教えてやる、というものであった。

最初は、冗談半分で甲の話を聞いていた乙であるが、次第にその気になり、なぜそのようなことを自分に教えてくれるのか、と甲に聞いたところ、甲の答えは、3年前まで、経理の事務を担当していた自分を、些細なミスを理由に首にした社長に恨みがあるから、ということであった。甲は、現金で500万円はあると思うから、自分は「情報料」として、その20パーセントの分け前をもらえばよい、と言った。

その後、甲の情報を得た乙は、その情報によって、苦もなく金庫にたどり着き、それを破壊したが、そのなかに現金は入っていなかった。その理由は、1年前に先代の社長が死亡し、そのあとを継いだ社長が、さまざまな経営改革を行い、その一環として、従業員の給与の支払い方法を、銀行振り込みに変更したことであった。甲はその事情を知らなかったのである。

予定が狂ってしまった乙は、事務所内にあった5台の机の引き出しから、数名の従業員の私物である時計や、現金3万5千300円を掻き集め、それらを自分の鞆に入れた。

事務所を飛び出した乙は、それでも腹の虫が収まらず、うさ晴らしのため、1棟の工場に侵入し工場内の旋盤機械などを壊して現場から逃走した。